

## 会 議 録

会議の名称	令和5年12月定例教育委員会		
開催日時	令和5年12月21日 13時30分開会 14時11分開会		
開催場所	つくば市役所本庁舎4階 ミーティング室1・2		
事務局	教育局教育総務課		
出席者	委員	教育長 森田 充 委員 倉田 廣之 委員 柳瀬 敬 委員 和泉 なおこ 委員 成島 美穂	
	委員以外の出席者	教育局長 吉沼 正美 教育局次長 坂田 博之 教育局次長 久保田 靖彦 学校教育審議監 山田 仁巳 教育総務課長 山岡 めぐみ 学務課長 下田 裕久 教育施設課長 鈴木 聡 健康教育課長 柳町 優子 学び推進課長 岡野 知樹 特別支援教育推進室長 中島 澄枝 学び推進課参事兼総合教育研究所長 山田 聡 学び推進課参事兼教育相談センター所長 久松 和則 生涯学習推進課長 澤頭 由紀子 文化財課長 石橋 充 中央図書館長 柴原 徹 中央図書館副館長 沼尻 祐一 教育局企画監 青木 孝之	
公開・非公開	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
会議次第及び議事	1 開会 2 議事録承認 3 教育長の報告		

	<p>4 案件</p> <p>(1)議案第 70 号 つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について（公開）</p> <p>(2)議案第 71 号 つくば市教育委員会職員の分限処分について（非公開）</p> <p>(3)報告第 34 号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
--	---

◎会議の概要

1 開会	
森田教育長	<p>ただいまから令和 5 年 12 月定例会を開催いたします。委員の皆様には、お忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。本日は定例会の終了後に、午後 2 時 45 分から総合教育会議もごございますので、スムーズに会議を進行してまいりたいと思います。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。</p>
2 議事録の承認	
森田教育長	<p>まず、議事録の承認ですが、令和 5 年 11 月定例会の議事録を委員の皆様事前に確認していただいております。その後修正等がないようでしたら、議事録を承認することとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
森田教育長	<p>ありがとうございます。それでは署名人を倉田委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
3 教育長の報告	
森田教育長	<p>続きまして、次第の 3、教育長の報告に移ります。今回は、12 月議会で教育局に関する一般質問が多数ありましたので、その中から主なものについて報告したいと思います。</p> <p>1 点目は、みどりの南小・中学校についてです。通学路の安全対策や、常磐自動車の騒音対策について等の質問がありました。通学路の</p>

安全対策については、開校準備委員会や通学予定の児童生徒の保護者から、対策が必要な箇所に対する意見を伺っており、その意見や市で調査したデータをもとに、関係機関と協力し、必要な措置を講じている、と答弁をしています。具体的には、片田わんぱく公園付近に横断歩道を設置したことや、常磐自動車道の隧道（ずいどう）内の照明器具の設置、スクールゾーンの路面標示も進めている、と答弁をしています。常磐自動車道の騒音対策については、東日本高速道路株式会社から、常磐自動車道北側及び南側のすでに整備が進んでいる住宅地に対しては、遮音壁を設置する旨の回答がありましたが、学校付近への設置につきましては、まだ回答が得られていない状況であるため、引き続き東日本高速道路株式会社との協議を進めていく旨の答弁をいたしました。来年4月の開校に向けて、しっかりと準備を進めていきたいと思っております。

2点目は、コミュニティ・スクールの取組み状況についてです。本事業の趣旨の周知と共通理解のためにどのような対策をとるのかという質問がありましたので、チラシや動画を作成し、ホームページや区会回覧、学校便りやスクリーンで配信していくなど、多くの手段で周知していくことと、共通理解のために令和4年度に教職員、地域住民、PTA等の支援団体に向けた説明会や研修会を実施してきたことなどを答弁いたしました。今後とも熟議を重ねながら、子供たちの豊かな学びのために、長期的な視点で地域の方々と共に取り組んでいきたいと思っております。

その他には、高校生に対する通学費の支援について、積極的に進めるということを経済局と市長部局から答弁いたしました。また、市内の学校における日本語教室の設置状況、学校給食への有機農産物導入への考え方等についても質問がありました。議会についての報告は以上でございます。

最後に、茨城大学の学生を中心とする、教職を目指す学生が集まったサークルから依頼があり、先週の土曜日に講演をしてきました。この講演は学生が企画したものだったのですが、直接私に交渉に来て、講演の内容についても向こうから提案してもらいまして、講演の当日にはいろいろな質問を受けました。非常に有意義な場とすることができて、今の若者も本当に頑張っていることをすごく感じました。大変熱心な学生たちで、将来ぜひ教員になってほしいと思わせてくれるような集まりだったので、そういった場が今後どんどんと広がってくれば良いと思ってお

	<p>ります。次の土曜日には茨城キリスト教大学で講話をする予定でして、こちらは学生の企画ではないのですが、皆さんがつくばの教育に非常に興味を持っているということは言えるのではないかと思います。報告は以上です。</p> <p>それでは、案件に移ります。本日は3件ございます。議案が2件、報告が1件です。議案第71号と報告第34号については、人事案件のため非公開といたします。議案第70号は公開ということで進めたいと思いますが、このように進めてよろしいでしょうか。</p>
委員一同	はい。
森田教育長	ではそのように進めさせていただきます。それでは、非公開案件を先に審議します。傍聴人の方は、一旦退室していただき、非公開案件が終わりましたら入室をお願いいたします。
(2) 議案第71号 つくば市教育委員会職員の分限処分について（非公開）	
森田教育長	それでは、議案第71号、教育総務課から説明をお願いします。
山岡教育総務課長	(議案に対する説明)
森田教育長	ただいまの説明に関して、質問や確認事項がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。では、承認することとしてよろしいですか。
委員一同	はい。
森田教育長	では承認するものとさせていただきます。
(3) 報告第34号 臨時に代理した事務の管理及び執行の状況について（つくば市教育委員会職員の分限処分）（非公開）	
森田教育長	次に報告第34号、教育総務課から説明をお願いします。
山岡教育総務課長	(議案に対する説明)
森田教育長	ただいまの説明に関して、質問や確認事項がありましたらお願いしま

委員一同	す。よろしいですか。では、報告のとおりとさせていただきますよろしいでしょうか。
森田教育長	はい。
	ではこのとおりとさせていただきます。
(1)議案第 70 号 つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部を改正する規則について（公開）	
森田教育長	以上で非公開の案件は終了しましたので、公開の案件を審議します。傍聴の方がいましたら、入室させてください。それでは、議案第 70 号、教育総務課からお願いします。
山岡教育総務課長	議案第 70 号、つくば市小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部を改正する規則についてご説明いたします。令和 6 年 4 月 1 日に開校予定のみどりの南小学校及びみどりの南中学校につきまして、規則上に位置づけるとともに、谷田部南小学校を加え、同じ学園に位置づけております。学園名につきましては、開校準備委員会において翠輝学園と選定されたため、これを規定するものです。なお、学園名につきましては、アイディアをみどりの学園義務教育学校と谷田部南小学校の児童生徒や保護者から募集しました。その結果を受けて候補の 6 案を決定し、その案に対してアンケートを実施しまして、得票数が一位でありました、翠輝（すいき）学園に決定しております。よろしくお願いたします。
森田教育長	学園名の意味についての説明を、学務課から説明してもらえますか。
下田学務課長	翠輝の翠につきましては、みどりと読ませまして、緑に溢れる自然環境と輝かしい未来を結びつけ、多様な経験とともに成長し、他者との関わりを重んじ、自己実現を目指す学びの場であることを表しております。また、翠輝の輝につきましては、谷田部南小学校が現在輝翔学園に位置づけられており、そこから一字をとった形です。
森田教育長	翠輝の翠にだけ、振り仮名がつくのですね。

山岡教育総務課 長 森田教育長	はい。常用漢字ではないため、例規上は読み仮名をつけております。
委員一同	ただいまの説明に関して、質問や確認事項等ありましたらお願いします。よろしいですか。では、承認することとしてよろしいですか。
森田教育長	はい。
森田教育長	では承認するものとさせていただきます。
5 その他	
森田教育長	<p>以上で案件はすべて終了しましたので、次第の5、その他に移ります。</p> <p>10月の定例教育委員会では、竹園東小学校での案件を受けて、いろいろと議論を行いました。その内容をまとめて提言としたものを委員の皆様へメールでお送りし、それに対し御意見を頂きました。一部については直しを入れたいという御意見がありましたので、その意見を踏まえてもう一度追記や修正を行い、もう一度皆様にお送りしたいと考えておりますが、そのように進めてよろしいでしょうか。</p>
和泉委員	今日この場で話すものと思っていて、メールを送っていなかったのですが、いつまでに送ればよいでしょうか。
森田教育長	できるだけ早い方がよいですかね。もちろんメールでもよろしいですが、もしよければこの場でお伺いできればと思います。
和泉委員	わかりました。コメントとしましては、まず明文化することは大事ですし、非常にわかりやすくまとまっていたと思います。質問があるのですが、読み手は誰なのでしょう。また、どのタイミングで公開するのでしょうか。あと、タイトルと提言1が同じ内容になってしまっているように思います。指導という言葉を使っていますが、そもそも指導という言葉が果たして適当なのかと思いました。おそらく、今回の問題を起こしてしまった教員に対して、これから直してほしいという意味で指導という言葉を使ったのだと思いますが、文書のタイトルに指導という言葉を使うのは適当ではないように感じました。指導という言葉が類義語

	<p>辞書で引くと、身につけさせる、監督するという言葉が出てきて、今回の提言の内容から逸れる部分があると思います。また、提言3で研修について書いていますが、これについても意見があります。子供の権利に関する研修というのが提言1の最初に書いてあって、非常に重要視していることがわかるのですが、提言3でもう少し具体的に子供の権利とは何かを示すのが良いのではないかと思います。研修の実施にあたっては、遠方から先生を呼ぶのではなく、先生同士で話し合う、学び合うような形で十分かと考えます。教材としては、ユニセフやNHK for Schoolのような分かりやすいものがあるので、そのようなものを活用するのが良いのではないかと思います。以上です。</p>
森田教育長	<p>ありがとうございます。指導という言葉の使い方については別のところについても同様に御意見を頂いていまして、ケアというところと明確に分けるのが良いのではないかとということでしたので、再考して進めているところです。今回和泉委員から頂いた御意見を含めて、修正できればと思います。</p> <p>読み手と公開の時期については、学び推進課から回答してもらえますか。</p>
岡野学び推進課長	<p>読み手につきましては、我々教育局の職員と、学校という二つの方面を考えて書いております。時期につきましては、当初は12月いっぱいを目途に考えておりましたが、頂戴した御意見の内容を加えまして、可能な限り早くまとめることができればと考えております。</p>
森田教育長	<p>学校に対しては、ただメールで送るのではなく、1月の校長会で配って説明するのが良いのではないかと考えています。1月の校長会はいつ頃でしょうか。</p>
岡野学び推進課長	<p>1月の中旬を予定しています。</p>
森田教育長	<p>わかりました。いずれにせよ、校長会で一度話し合おうと思っています。</p>

柳瀬委員	その前に、教育委員会で議論する場は持たないのでしょうか。
森田教育長	議論というのはあまり考えていませんでした。
柳瀬委員	提言に対して意見を出させてもらいましたが、教育委員会として出すものですので、内容については共通理解を図ったうえで出すのが良いと思います。メールでお送りした内容については伝わっているかと思いますが、立てつけと問題意識の部分で若干のずれがあるようにも思います。
森田教育長	そうしますと、勉強会のような形で、12月中に少し議論する時間をとりましょうか。
柳瀬委員	そうですね。文書が出てからでは遅いのです。
森田教育長	となると、やはり12月中ですね。
柳瀬委員	今日ここで議論できるかと思っていたのですが、まだ文書を直しているということですからね。
森田教育長	そうですね。文書の直しが終わってから話すのが良いかと思いましたが、いきなりここで話す少し時間がかかってしまうかと思いましたが、今日この場でとは考えていなかったところでした。
柳瀬委員	わかりました。1点だけ確認してもよろしいですか。和泉委員からもありましたが、子どもの権利条約について最初に書いているものの、条約の解釈はいろいろとあると思います。子供の人権を認めるというのは当然ですが、子供特有の権利を認めるということがあります。一つは、育ちの権利です。これは教育を受ける権利のことです。もう一つは、子供が必要に応じて保護され、子供としての配慮を受ける権利です。この部分が、子供の権利条約において、大人と同じ権利を認めるだけでなく、プラスアルファの部分になります。そこを皆さんに分かってほしいと思います。それから、チーム担任制についてですが、学校もチームだとい



<p>森田教育長</p>	<p>うことは今までも言われてきたわけで、チームという概念は教育現場ではかなり浸透してきているはずです。その中でチーム担任制をどのように考えるかは、ぜひ意見を聞いてみたいと思います。少なくとも、チームとして先生たちへの指導や管理を強めようというものではないことをはっきりさせたいですね。子供たちに対するケアを複数の目で見るとのチームであって、先生たちが委縮してしまっては良くないので。</p> <p>チーム担任制については、校長たちに対し、来年に向けて考えましようと言っています。1人では気づかないような子供たちの良さや配慮すべきところを複数の目で見つけて、みんなで対応することがチーム担任制のねらいだという話はしてあります。どのようにやっていくかを、学校の方で考えてくれているはずです。</p> <p>それでは、委員の皆様から意見を頂いた点についてもう一度こちらで整理し、修正したうえで、それを元に議論する時間を可能であれば12月中に取れればと思います。</p> <p>続いて、和泉委員から不登校児童生徒支援に関して、実態調査の進捗を知りたいと御要望を頂いていますので、これについて学び推進課から説明をお願いします。</p>
<p>岡野学び推進課長</p>	<p>昨年度の長欠児童調査を基に、今年も調査の実施を予定しております。内容についてですが、今年度当初に茨城県で実施したアンケート調査と昨年度の調査との比較を行って、重複しないように検討している状況です。加えて、今年度から実施している施策についても調査を行おうと考えています。感想や意見等を聞けるような内容、項目とするよう意識しています。実際には、校内フリースクールと、民間不登校児童生徒支援利用者交付金の2点がポイントになるかと思っております。スケジュールとしましては、令和6年1月中を目途にアンケート調査を実施して、2月にかけて結果の取りまとめ等を行うことができればと思っております。昨年度の調査は令和4年7月に行いましたが、今回は令和5年11月末時点での長期欠席の児童生徒およびその保護者を対象に実施しようと考えております。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>和泉委員から何かございますか。</p>

和泉委員	お忙しい中、本当にありがとうございます。アンケートはどのような形で実施するのでしょうか。紙だけとするのか、それとも Google Form 等も使用するのでしょうか。
岡野学び推進課長	Google Form 等を使用する形を考えております。一人一人が回答しやすいような方法で実施できればと考えております。
和泉委員	わかりました。回収率をもう少し上げないとわからない部分が多いのではないかと昨年度の調査で思いましたので、ぜひよろしくお願ひします。質問項目について、県が実施したものと同じものにならないようにするということですね。
岡野学び推進課長	はい。ご承知のように、私たちが去年実施した調査を参考に県が今年度当初にアンケート調査を実施しており、内容はほぼ同じでした。何度も同じ質問に回答していただくことは負担になるかと思われまので、その辺りをよく整理することが一番大事であると思っております。
和泉委員	対象としては、当該児童生徒とその保護者ということでしょうか。
岡野学び推進課長	はい、そのとおりです。
和泉委員	わかりました。対面での聞き取り調査は検討されているのでしょうか。
岡野学び推進課長	対面での調査については、昨年度から検討はしておりますが、慎重に検討しなければならないと思っております。デリケートな気持ちのお子さんたちも多いものですから、対面で聞き取りを行うことへのハードルがどうなのかという部分があるためです。聞き取りに参加していただいたお子さんに、思っていた以上の負担がかかってしまう可能性もありますので、その点は慎重に考えなくてはいけないと考えています。また、なるべく多くの方のお気持ちや御意見、感想等を汲み取りたいと思っておりますが、聞き取り調査の場合は、対象がある程度限られてしまうかも

	<p>しれないという懸念があります。その他にも様々な懸念が考えられますので、検討を慎重に進めていかなければという状況です。</p>
和泉委員	<p>非常に慎重に進める必要があることだと私も思います。ありがとうございます。</p>
柳瀬委員	<p>私からもよろしいですか。回収率はどのぐらいを目指すのでしょうか。もちろん理想は100%だと思いますが。</p>
岡野学び推進課長	<p>前回の調査の回答率が40%程度であったことを踏まえ、60%から70%程度から回答を得られればと思います。回答しやすいように、可能な限り回答の手段を広げていこうとしているところです。</p>
柳瀬委員	<p>行政が実施する調査で、回答率が40%というのは少々低いと思います。催促というか、後からもう一度回答を促すような働きかけをすると回答率が上がるということを聞いたことがあります。非常にデリケートな内容ではありますが、回答率を上げていくための何らかの努力が必要かと思しますので、そのための方策を引き続き考えていただければと思います。</p>
森田教育長	<p>催促というのは厳しいような気もしてしまいますね。</p>
柳瀬委員	<p>教員のアンケートであれば催促しても良いのではないかと思ったのですがね。催促はできないとすると、どのような方法があるでしょうかね。</p>
森田教育長	<p>フリースクールを利用している子供たちに対しては聞き取りもしやすいかもしれませんが、自宅にいる子供たちに対してはなかなか難しい気がします。いろいろと考えているところですので、また何かアイデアがありましたらぜひお願いします。</p>
柳瀬委員	<p>学校の校内フリースクールを利用している子供と、不登校状態の子供、それから完全には不登校ではないもののその傾向がある子供を合わ</p>

	<p>せると、かなりの人数になるようですが、そのうち校内フリースクールを利用しているのは10%にも満たない感じがします。ですので、残りの90%へどのようにアクセスするかが非常に難しい点だと思います。校内フリースクールが徐々に浸透しているとは思いますが、アンケートというのはそういった子供たちへアクセスする非常に大きな手段の一つだと思いますので、よろしくお願いします。</p>
森田教育長	<p>数字上では、不登校の児童生徒は去年より減っている状況なのですよ ね。</p>
久松学び推進課 参事兼教育相談 センター所長	<p>はい。11月末現在では約650名で、昨年度末で約850名でしたので、ペースとしては昨年度よりも緩やかになっているかと思います。</p>
柳瀬委員	<p>それは年間の欠席日数が30日以上の子供の数字ですよ。不登校ぎみの子供まで含めると、実際の数字はまだよくわからない感じがします。</p>
森田教育長	<p>調査についてはできるだけ回収率を上げるということと、慎重に実施するということの両面をうまく保ちつつ、誰に対してどのように聞くのかを含めて引き続き検討し、ぜひ良い方法で実施したいと思います。</p>
和泉委員	<p>調査は2月に取りまとめるということでしたが、その取りまとめをもって、教育委員会で定例会とは別に一度時間を取って、振り返りをしながら来年度につなげられるような議論の時間を持つことが必要ではないかと思います。</p>
森田教育長	<p>そうですね。それも検討させていただきたいと思います。県がかなりつくば市の取組みに注目しているようでして、県でも校内フリースクールへの支援をできないか、検討しているようです。もしかすると県から補助金等が出るかもしれないという期待をしているところです。</p> <p>その他に不登校児童生徒支援について何かありましたらお願いします。はい、和泉委員どうぞ。</p>
和泉委員	<p>2月に話をもち寄る際に、校内フリースクール支援員について、1年</p>

	担当してみての実感や意見等をぜひ聞かせていただきたいと思います。
岡野学び推進課 長	今年度勤務された支援員の方へ聞き取りやアンケート等も実施する予定ですので、共有させていただきます。
森田教育長	今の応募状況はどのような状況でしょうか。
久松学び推進課 参事兼教育相談 センター所長	昨日の時点で、支援員は38名から、補助員は16名から応募が来ている。募集期間は1月19日までとしております。
柳瀬委員	採用予定人数は何人ですか。
久松学び推進課 参事兼教育相談 センター所長	両方とも53人を予定しています。
森田教育長	支援員の方が多く応募が来ているということは、教員免許を持っている人の応募が多いということですね。すでに38名から応募が来ているのは良いことだと思います。ただ、その分、講師が減ってしまうとそれはそれで困るのですが。
和泉委員	会計年度の雇用ということは、今年度勤めている支援員の方も応募しているということですね。
森田教育長	そうですね。それでは、不登校児童生徒支援についてはよろしいでしょうか。他に何か確認したいことや、次回に話題にしたいということがありましたらお願いします。はい、成島委員どうぞ。
成島委員	ホームページについてですが、12月1日より開設されたということで早速確認させていただきました。検索したらすぐにヒットしますし、幼稚園もそれぞれの園について見ることができて、全体として以前より大分見やすいものになっていると感じました。御尽力ありがとうございました。私はスマートフォンから見たのですが、全体的に統一されたような形で、以前のホームページにあった鍵付きの記事のようなものは無い

	<p>ように見えまして、情報漏えい等についてはそのような住み分けをすることで対策をしたということでしょうか。</p>
山田学び推進課 参事兼総合教育 研究所長	<p>ホームページについては大変お騒がせしましたが、ようやく公開することができました。幼稚園については、おっしゃるように同じフォーマットに随時それぞれの園でアップする形となっています。鍵付きのページは用意していませんので、もし保護者だけに送るものがある場合には、スクリレ等を使うこととなります。</p>
成島委員	<p>テンプレートに各園や各学校が自由にアップできるということですね。危惧されていたウイルス対策の費用については、あまりかからずに済んだのでしょうか。</p>
山田学び推進課 参事兼総合教育 研究所長	<p>今までは教育局の施設の中にあるサーバーを使っていたのですが、今回はそれを外注しており、その費用はかかっています。業者に24時間体制でセキュリティをしっかりと守っていただき、何かアラートが発生した際には、私たちに通知が来るようになっております。</p>
成島委員	<p>ありがとうございます。大変お疲れ様でした。</p>
森田教育長	<p>他にはよろしいですか。無いようですので以上とさせていただきます。</p>
6 閉会	
森田教育長	<p>以上をもちまして、12月定例会を閉会します。ありがとうございました。</p>

◎会議録の調製

署名年月日	令和6年(2024年) 1月 25日
調製者	吉沼 正美